

- 新たに導入する自動操舵トラクターの導入効果を最大化するため、枕地を確保することで旋回効率が向上。
- オフセットハーベスターと組み合わせて自動操舵トラクターを活用することにより、収穫作業が効率化し労働時間が削減されることで、労働生産性が向上。

経営上の課題

- ・馬鈴薯作業において収穫作業の負担が大きく、生産性に課題がある。
- また、収穫時の既存作業では損傷が多く歩留まり率が低い状況。

生産性の高いスマート農業機械の導入を進めるとともに、その性能を十分に発揮できる圃場条件・体制の整備が必要

申請者：

株式会社影山ファーム（北海道美幌町）

対象品目：

馬鈴薯（生食用）

スマート農業技術：

自動操舵トラクタ

新たな生産方式：

枕地の導入による自動操舵トラクタの作業効率向上

活用予定の支援措置：

補助事業の優遇措置

計画の概要

スマート農業技術

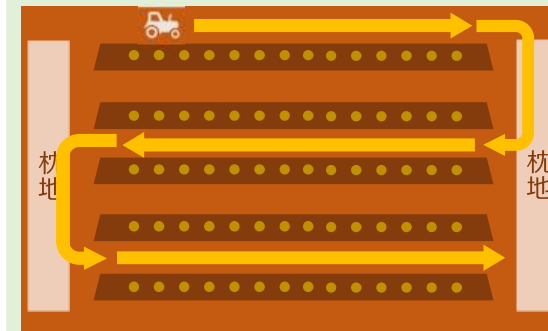
自動操舵トラクタ



自動操舵トラクタによる
収穫作業の効率化

新たな生産方式

枕地の導入



枕地を確保することにより、旋回効率が向上

圃場全体で、スマート農業機械の
導入効果が最大化する体制整備を
実施し、労働生産性を向上させる

スマート農業技術を活用し効率的な収穫体制を構築